

名古屋市感染症発生動向調査情報

2018年(平成30年)第14週(2018年4月2日~4月8日)

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部) 2018年4月11日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0-0.html>

◆本市の状況

〔定点把握感染症の発生動向〕

- 突発性発しんの定点当たり患者報告数は、前週の0人から0.2人に増加した。

〔1類~5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2018年 第14週	2類	結核	9	<ul style="list-style-type: none">男性、32歳、肺結核女性、79歳、肺結核女性、88歳、肺結核女性、74歳、肺結核女性、62歳、肺結核及び結核性胸膜炎男性、86歳、肺結核及び結核性胸膜炎男性、19歳、無症状病原体保有者男性、33歳、無症状病原体保有者女性、18歳、無症状病原体保有者
2018年 第14週	5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	<ul style="list-style-type: none">男性、59歳、菌検出検体：血液、菌種：<i>K.pneumoniae</i>、感染原因：以前からの保菌、院内感染
2018年 第14週	5類	侵襲性肺炎球菌感染症	3	<ul style="list-style-type: none">男性、52歳、菌検出検体：血液女性、90歳、菌検出検体：血液男性、1歳、菌検出検体：血液
2018年 第14週	5類	梅毒	2	<ul style="list-style-type: none">男性、44歳、早期顕症梅毒(1期)男性、38歳、早期顕症梅毒(1期)

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2018 年第 13 週	2 類	結核	2	<ul style="list-style-type: none"> 男性、67 歳、肺結核 男性、62 歳、肺結核
2018 年第 12 週	2 類	結核	1	<ul style="list-style-type: none"> 女性、95 歳、肺結核
2018 年第 11 週	5 類	アメーバ赤痢	1	<ul style="list-style-type: none"> 男性、59 歳、腸管アメーバ症、感染経路：経口感染、感染地域：名古屋市
2018 年第 11 週	5 類	梅毒	1	<ul style="list-style-type: none"> 男性、39 歳、早期顕症梅毒（2 期）
2018 年第 10 週	2 類	結核	1	<ul style="list-style-type: none"> 男性、74 歳、肺結核
2017 年第 50 週	2 類	結核	1	<ul style="list-style-type: none"> 女性、19 歳、無症状病原体保有者

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

〔2018 年 1 類～5 類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1 類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2 類感染症	急性灰白髄炎	0
2 類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	128 (34) [0] [0] [1]
2 類感染症	ジフテリア	0
2 類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3 類感染症	コレラ	0
3 類感染症	細菌性赤痢	1
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1 (0)

3 類感染症	腸チフス	0
3 類感染症	パラチフス	0
4 類感染症	E 型肝炎	1
4 類感染症	つつが虫病	1
4 類感染症	レジオネラ症	5
5 類感染症	アメーバ赤痢	9
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	15
5 類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	5
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	20 (14) <0> 【0】
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	24
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	2
5 類感染症	梅毒	57 (17)
5 類感染症	百日咳	15

累計は 2018 年第 1 週からの診断週による累計、() 内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[] 内は疑似症累計数を再掲、【 】 内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕 内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、< > 内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。

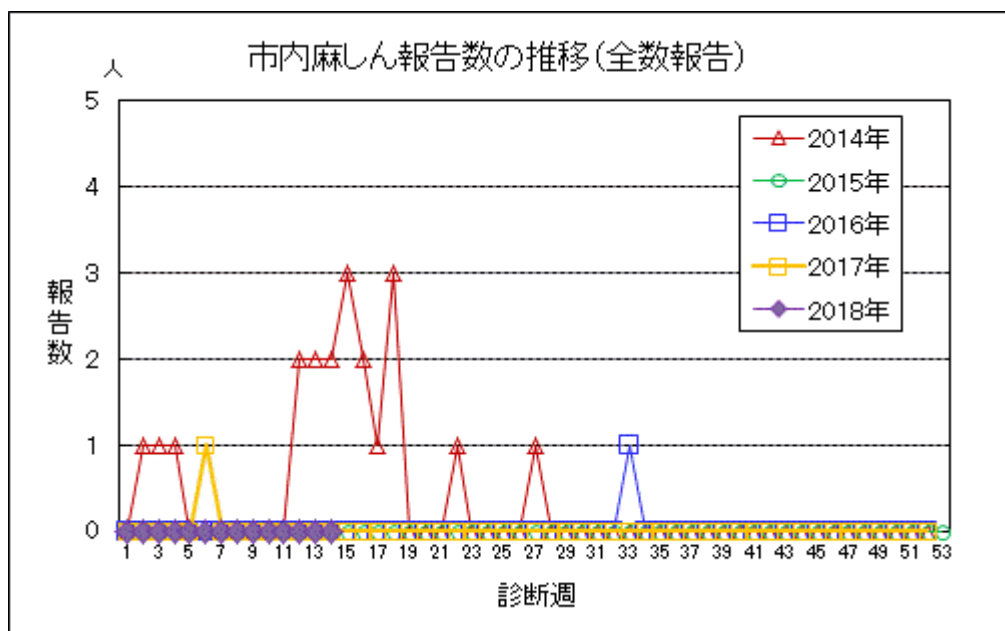
対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

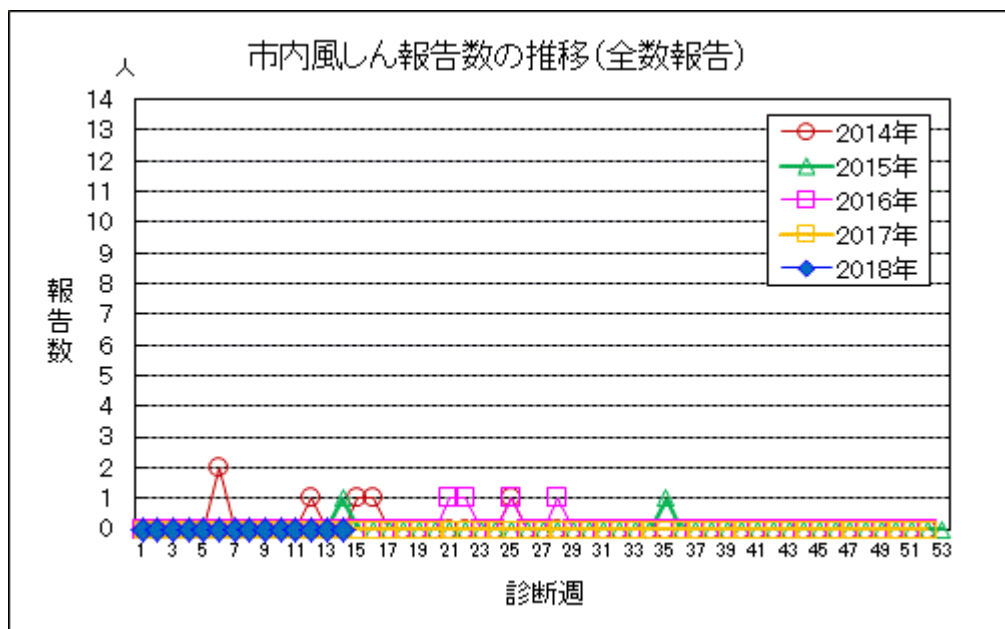
〔愛知県麻しん・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻しん・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻しん・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

〔名古屋市の麻しん報告数〕



〔名古屋市の風しん報告数〕



〔定点医療機関からの情報〕

インフルエンザ A 型 2 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ B 型 1 件	定点医療機関（千種区）
ヒトメタニューモウイルス感染症 2 歳男、同 2 歳女	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 型	定点医療機関（北区）
インフルエンザ： A 型 3 名	定点医療機関（西区）
インフルエンザ A 型 3 人 B 型 2 人	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ B 型 1 人	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型	定点医療機関（中区）
インフルエンザ A 型： 2 件	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ A 型： 2 件	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ B 型： 1 名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザ A 型： 2 名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザ A 型 2 名	定点医療機関（港区）
インフルエンザ A 型 1 名	定点医療機関（港区）
インフルエンザは、全て A 型（男性 9 名 女性 2 名）です。	定点医療機関（南区）

インフルエンザ3名は、全てA型です。	定点医療機関（南区）
インフルエンザA型 1名	定点医療機関（守山区）
インフルエンザB型1名	定点医療機関（緑区）
インフルエンザB型1名	定点医療機関（緑区）
インフルエンザB型1名	定点医療機関（名東区）
インフルエンザA型3名 B型1名	定点医療機関（名東区）

上記、2018年第14週の定点医療機関からのコメント情報を集計したところ、インフルエンザA型37人（80.4%）、インフルエンザB型9人（19.6%）でした。

◆2018年第14週 患者報告数（疾病別）、定点あたり患者報告数（疾病別）、年齢階層別患者報告数（疾病別）

患者報告数（名古屋市）

2018年第14週（2018年4月2日～4月8日）

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★ インフルエンザ	5	2	3	18	9	2	5	7	4	3	10	15	9	3	7	6	108	0.6	0.6
○ RSウイルス感染症			3						2								7	0.6	1.1
○ 咽頭結膜熱	1		1	1								1	2		1	1	8	1.3	0.5
○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	4	2	10	2				3	5	6	2	15	2	13	2	69	1.0	1.0
○ 感染性胃腸炎	12		18	9	7	3	14			5	28	7	11	8	5	15	142	0.8	0.7
○ 水痘										2				3	1		6	0.7	0.4
○ 手足口病																	0	0.0	0.0
○ 伝染性紅斑																	0	0.0	0.0
○ 突発性発疹	2	1	1	2	2	1				1			1	3	3	2	19	9.5	1.3
○ ヘルパンギーナ																	0	0.0	0.0
○ 流行性耳下腺炎																	0	0.0	0.0
△ 急性出血性結膜炎																	0	0.0	0.0
△ 流行性角結膜炎																1	1		0.5
◇ 細菌性髄膜炎																	0		
◇ 無菌性髄膜炎																	0		0.0
◇ マイコプラズマ肺炎																	0		0.0
◇ クラミジア肺炎																	0		0.0
◇ 感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）							2			2							4	4.0	6.0
計	23	7	28	40	20	6	21	7	9	18	44	28	43	13	30	27	364		

*過去3年の同週の平均値との比

★ インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○ 小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△ 眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇ 基幹定点数			1				1			1							3		

★○△◇は定点種別を示す。
セルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況（名古屋市）

2018年第14週（2018年4月2日～4月8日）

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ	1.0	0.5	0.6	4.5	1.8	0.5	1.0	1.4	1.0	0.8	2.5	3.8	1.8	0.8	1.8	1.5	1.5
RSウイルス感染症			0.6						0.5				0.5				0.1
咽頭結膜熱	0.2		0.2	0.3								0.3	0.4		0.3	0.3	0.1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.6	1.0	0.4	2.5	0.4				0.8	1.3	1.5	0.5	3.0	0.5	3.3	0.5	1.0
感染性胃腸炎	2.4		3.6	2.3	1.4	0.8	2.8			1.3	7.0	1.8	2.2	2.0	1.3	3.8	2.0
水痘										0.5				0.6	0.3		0.1
手足口病																	
伝染性紅斑																	
突発性発疹	0.4	0.3	0.2	0.5	0.4	0.3				0.3		0.3	0.6		0.8	0.5	0.3
ヘルパンギーナ																	
流行性耳下腺炎																	
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎																1.0	0.1

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

■ 太字の数字 は流行発生警報

■ 斜体の数字 は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値（左表）に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2018年第14週(2018年4月2日～4月8日)

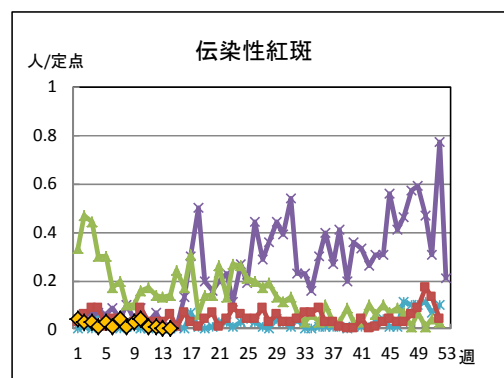
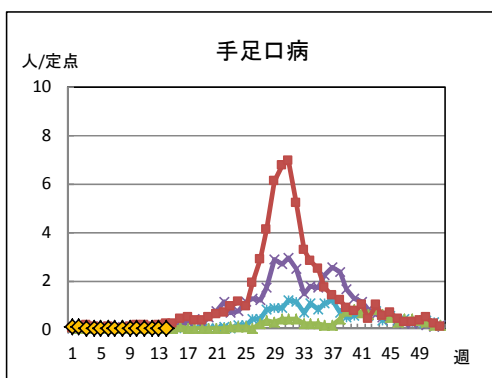
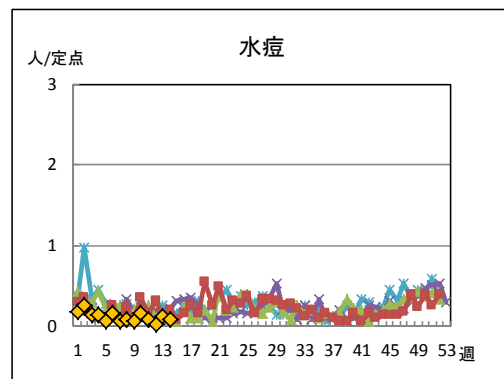
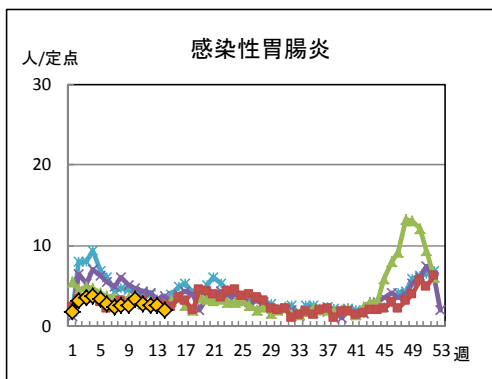
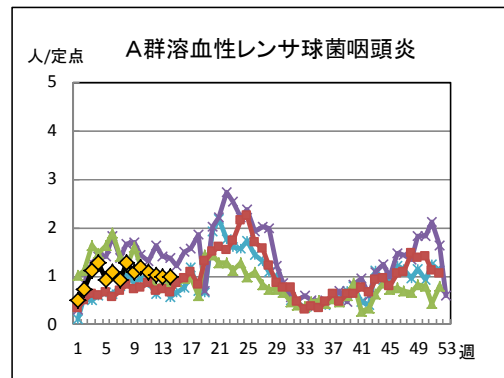
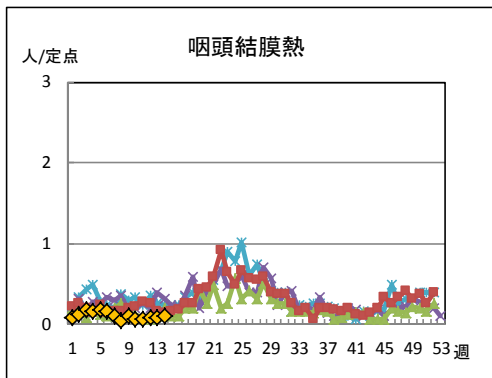
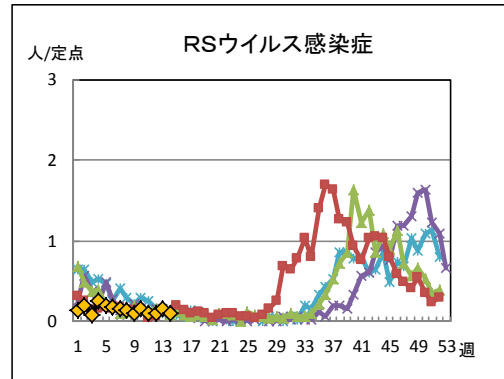
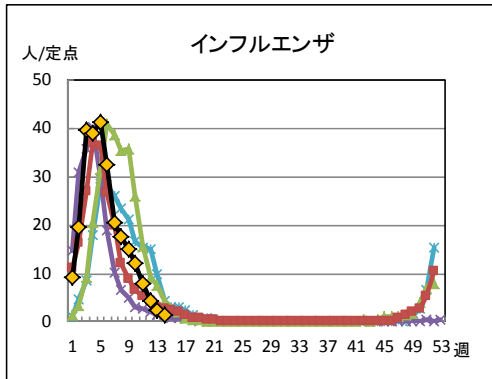
疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ		3	11	5	4	1	3	5	3	2	1	13	3	11	11	10	9	4	4	5

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	2	2		1	1							1		
咽頭結膜熱	1	1	2	1	1			2						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			5	4	7	15	9	4	3	4	2	6		10
感染性胃腸炎	2	5	5	13	10	14	18	5	6	4	3	5	8	44
水痘							2		1			3		
手足口病														
伝染性紅斑														
突発性発しん		7	9	3										
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎														

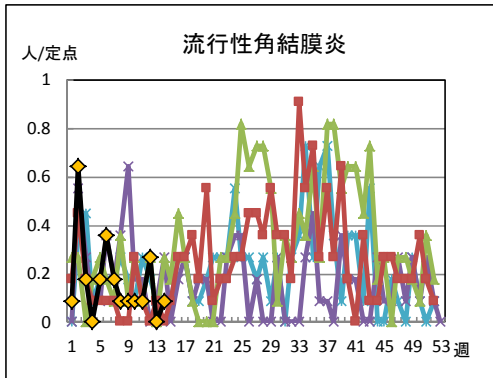
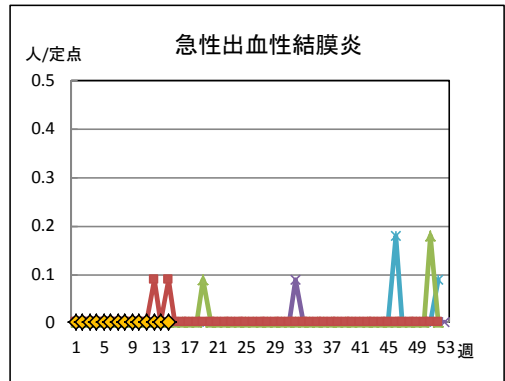
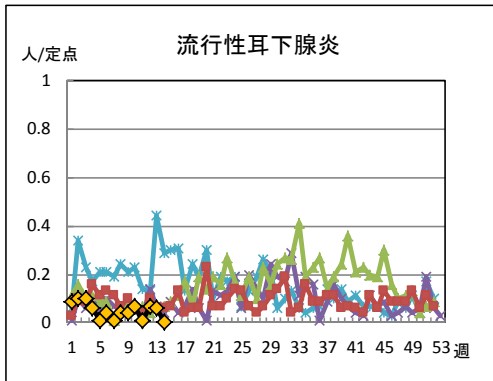
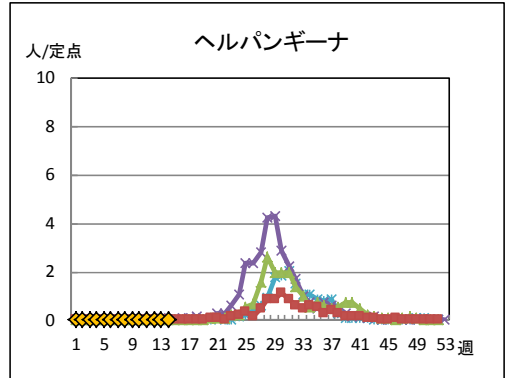
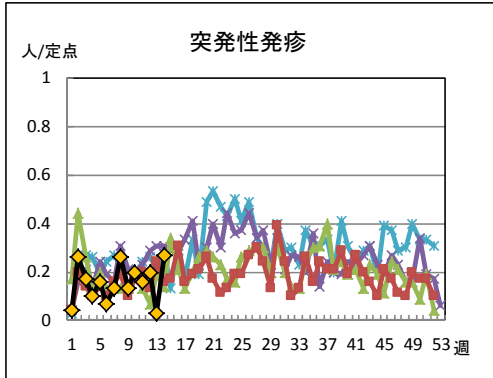
疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎																				
流行性角結膜炎															1					

疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎																
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)		2	1									1				

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2018年第14週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2018年第14週まで



◆ 基幹病院定点月報の集計結果〔2018年3月分〕

基幹定点数：3（西部医療センター(北)、名古屋第二赤十字病院(昭和)、名古屋掖済会病院(中川)）

表1.基幹定点報告、区別患者報告数(名古屋市)

2018年3月

疾患 / 区	北	昭和	中川	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1			1
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		1		1
薬剤耐性緑膿菌感染症				0
計	1	1	0	2

表2.基幹定点報告、年齢階級別報告数(名古屋市)

2018年3月

疾患 / 年齢階級	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90歳-	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症									1		1
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1										1
薬剤耐性緑膿菌感染症											0
計	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2

◆ 性感染症について〔性感染症定点把握、2018年3月分〕

性感染症定点数：15（泌尿器科系：8、産婦人科系：7）

報告された患者数を性別で見ると、男性では性器クラミジア感染症、淋菌感染症、尖圭コンジローマ、性器ヘルペスウイルス感染症の順に多く、女性では性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症の順に多く報告がありました。今月の性感染症の報告数は男性84人、女性は40人でした。（表2、図1参照）

2018年3月分を年齢階級別に見ると、男性の性器クラミジア感染症及び淋菌感染症は15歳以上の全ての年齢階級において報告がありました。尖圭コンジローマは25歳から34歳および40歳以上の年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は15歳から19歳、25歳から34歳および45歳から54歳の年齢階級で報告がありました。女性では性器クラミジア感染症は15歳から34歳および45歳から49歳の年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は20歳から34歳、40歳から44歳及び50歳以上の年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマは20歳から29歳、35歳から39歳および55歳以上の年齢階級で報告があり、淋菌感染症は20歳から24歳及び30歳から34歳の年齢階級で報告がありました。（表2、図2参照）

表1.性感染症区別患者報告数(名古屋市)

2018年3月

疾患 / 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
性器クラミジア感染症	1		3		4	21	4	3		10	5	2		4	1	1	59
性器ヘルペスウイルス感染症				1	2	4	4	1			7				2	1	22
尖圭コンジローマ			1			4	4			4	3						18
淋菌感染症					2	5	1	1		12				3		1	25
計	1		4	1	8	34	13	5		26	15	2		7	3	5	124

STD定点数	1		2	1	1	2	1	1		1	1	1		1	1	1	15
--------	---	--	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	--	---	---	---	----

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

表2.性感染症年齢階級別患者報告数(名古屋市)

2018年3月

疾患 / 年齢階級	性別	0-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55歳-	計
性器クラミジア感染症	男性		1	6	11	8	4	3	2	2	3	40
	女性			2	8	6	2		1			19
性器ヘルペスウイルス感染症	男性		1		3	1			3	1		9
	女性			1	5	1		1		3	2	13
尖圭コンジローマ	男性				4	1		4	1	1	1	12
	女性			2	2		1				1	6
淋菌感染症	男性		1	5	5	4	3	1	2	1	1	23
	女性			1		1						2
計	男性		3	11	23	14	7	8	8	5	5	84
	女性		2	12	13	4	1	1	1	3	3	40

図1. STD各感染症が総報告数に占める割合(2018年3月)

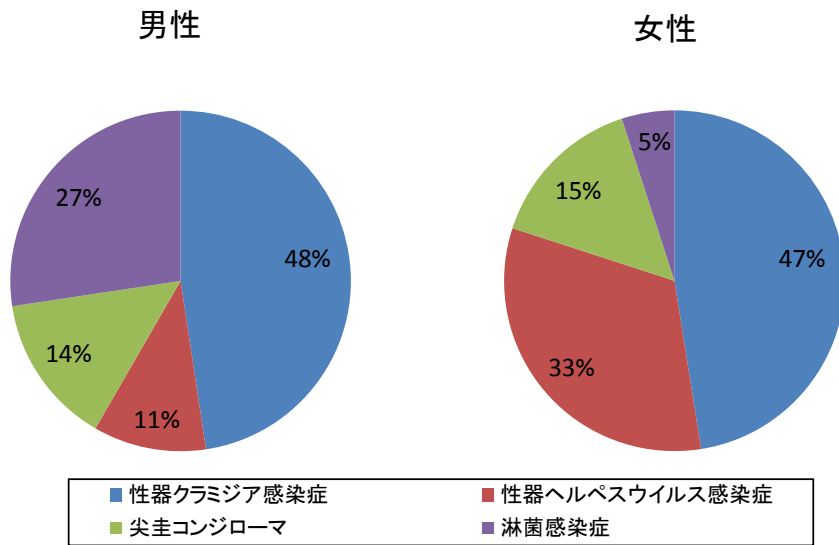


図2. 各STDの性別・年齢階級別の定点あたり報告数(2018年3月)

